

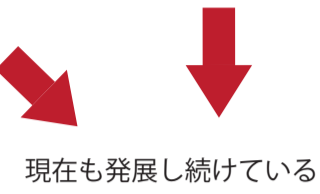
History

大井町は、鉄道とともに歩みだし、発展したまちである。

明治初期に鉄道が開通し、大正時代には京浜線（現在の京浜東北線）の大井町駅が誕生していた。昭和になると、目蒲鉄道（現在の東急線）が開通するとともに、沿岸部では大井、勝島、品川の埠頭が物流拠点として誕生し、大井町は人と物の流れで賑わうようになった。

そのポテンシャルは今も至る所に存在し、大井町活性化の鍵を握っていると考えられる。

明治 5年	鉄道が開通	
大正 3年	鉄道院 (IR の前身) 大井町工場の進出と京浜線の開業	
昭和 2年	目蒲鉄道が大井町に開通	物流拠点が誕生
平成 14年	りんかい線が大井町に開通	



Concept

大井町駅が持つ「駅」の活気を周辺に点在させ、まちを活性化させる拠点を形成する。

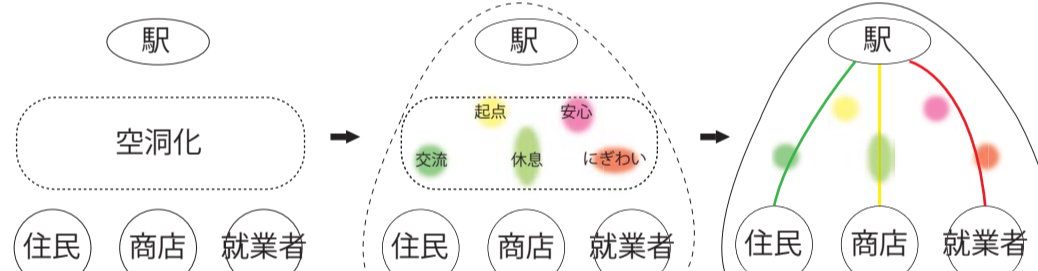


Survey

大井町駅周辺の敷地調査を行ったところ、様々な課題が浮上してきた。一つ一つは大きな問題ではないが、人の流れや活気を阻害している要因にもなっている。その中でも解決すべきと考えられるポイントは4つ。



Diagram



駅前商業施設のにぎわいと住宅街との差によって生まれた中心部の空洞化。住民や地元店舗が切り離されてしまっている。

その空洞に、様々な質を持った空間を点在させる。

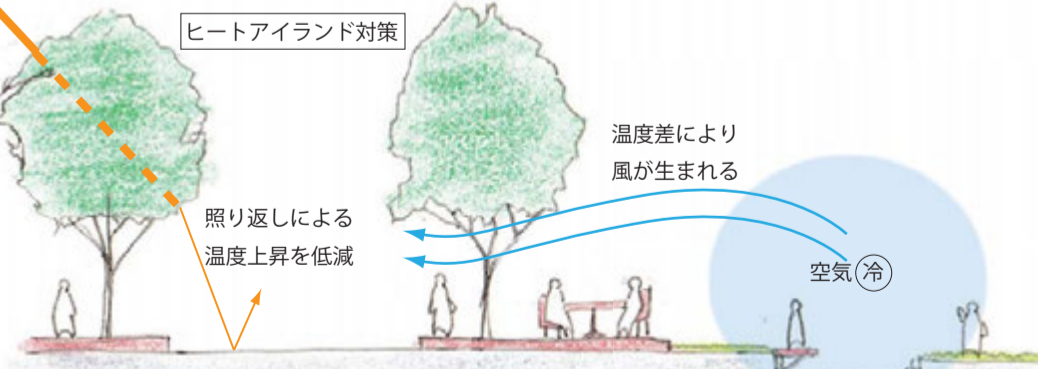
その場所に人が集まり道でつながっていく。場から道へ、道から町へとにぎわいが広がり、大井町を人が彩る。

Proposal

まちに様々な質を持った「まちの駅」を散りばめる事で、現在抱えている問題点を解決する。それぞれの「まちの駅」が作り出す特徴的な空間によって、通りには人が集まり、流れができ、まちに活気生まれる。

Environment

街路樹の整備と、暗渠化廃止によってより良い都市環境が生まれる。

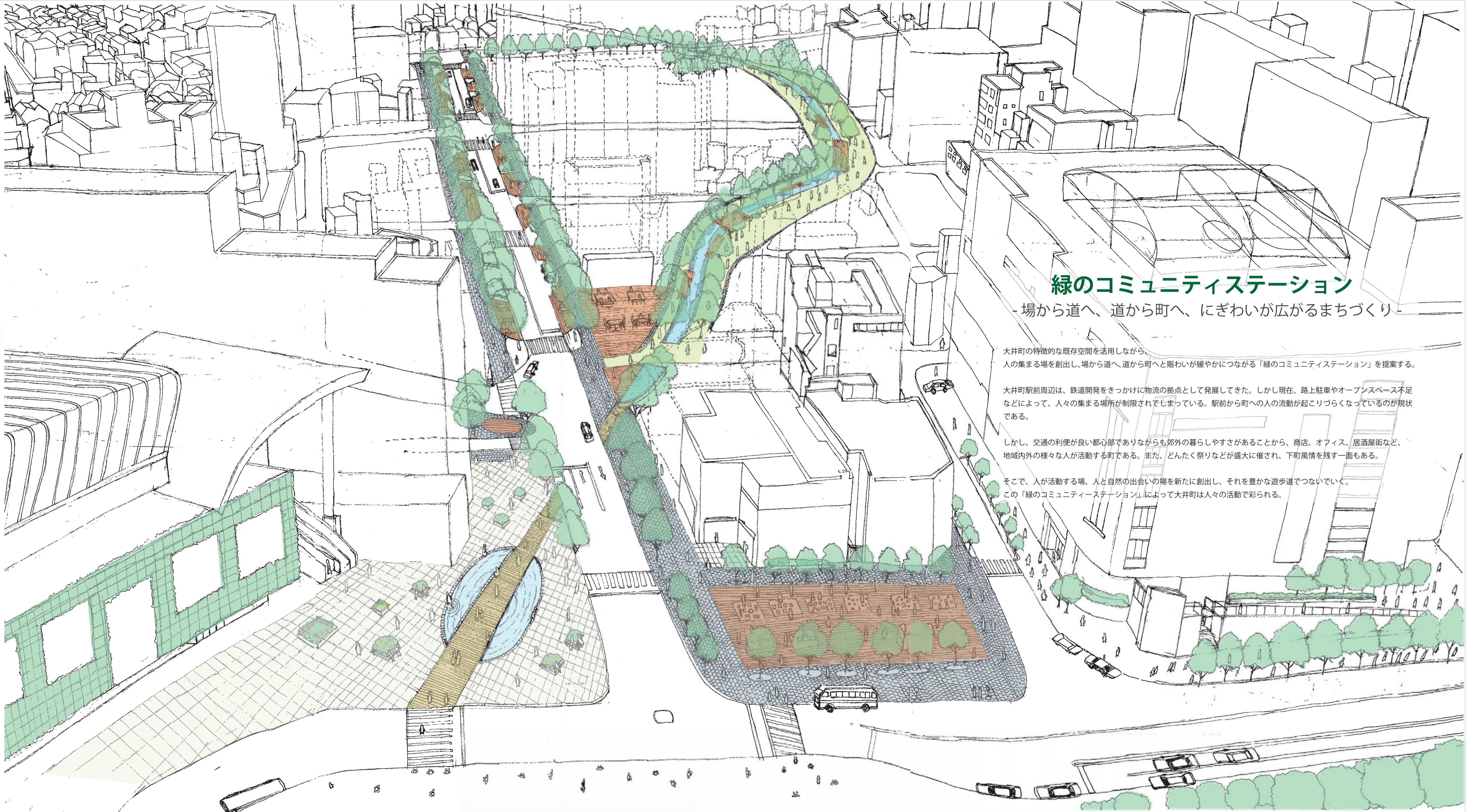


Traffic

交通動線・人の流れを再構成し、スペースを作り出す。

現状の大井町は、交通動線が複雑に絡み合い、あらゆるところに無駄な空間を生んでしまっていた。

それが特に顕著だった駅前を中心に交通動線を整理し、メリハリのある都市空間をつくりあげる。



緑のコミュニティステーション

場から道へ、道から町へ、にぎわいが広がるまちづくり

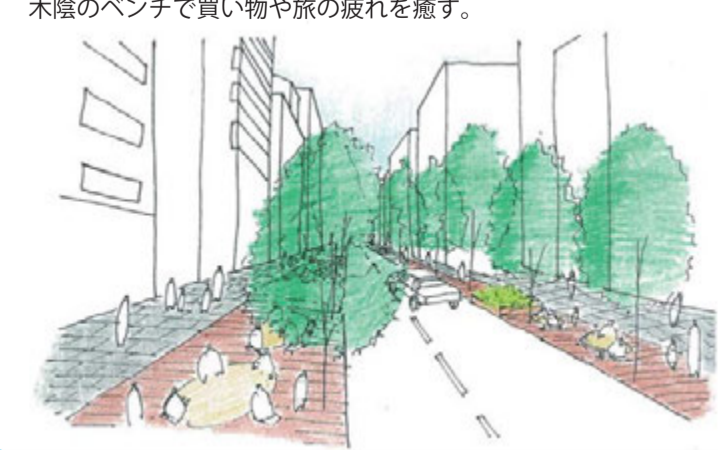
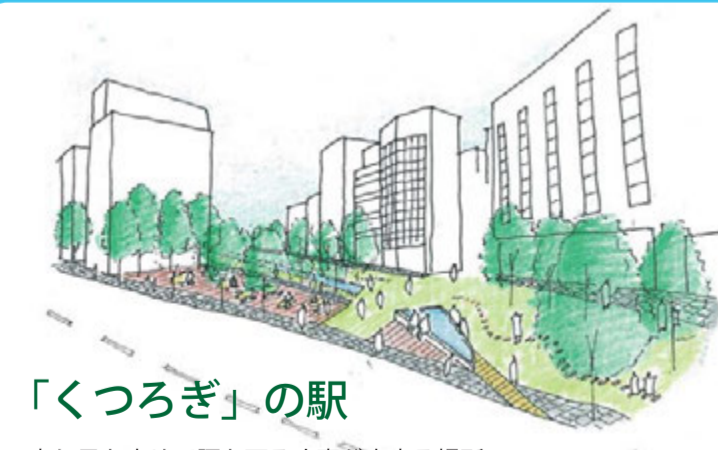
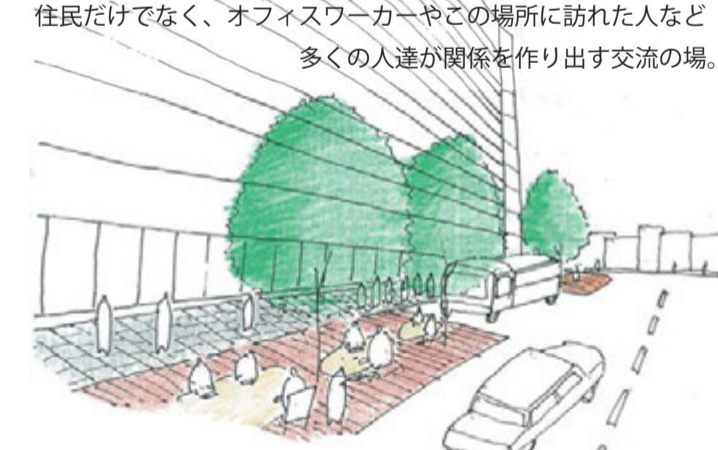
大井町の特徴的な既存空間を活用しながら、人の集まる場を創出し、場から道へ、道から町へと賑わいが緩やかにつながる「緑のコミュニティステーション」を提案する。

大井町駅前周辺は、鉄道開発をきっかけに物流の拠点として発展してきた。しかし現在、路上駐車やオープンスペース不足などによって、人々の集まる場所が制限されてしまっている。駅前から町への人の流動性が起こりづらくなっているのが現状である。

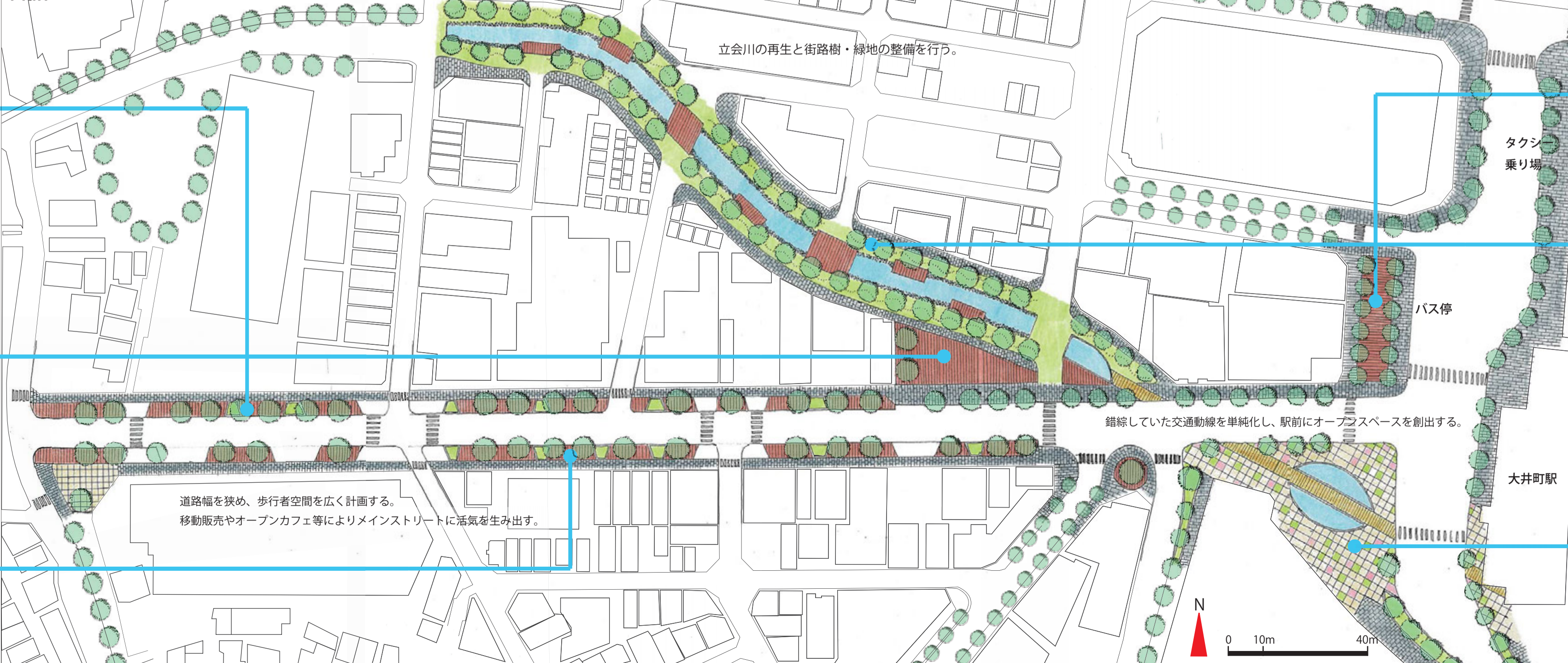
しかし、交通の利便が良い都心部でありながらも郊外の暮らしやすさがあることから、商店、オフィス、居酒屋街など、地域内外の様々な人が活動する町である。また、どんたく祭りなどが盛大に催され、下町風情を残す一面もある。

そこで、人が活動する場、人と自然の出会いの場を新たに創出し、それを豊かな遊歩道でつないでいく。この「緑のコミュニティステーション」によって大井町は人々の活動で彩られる。

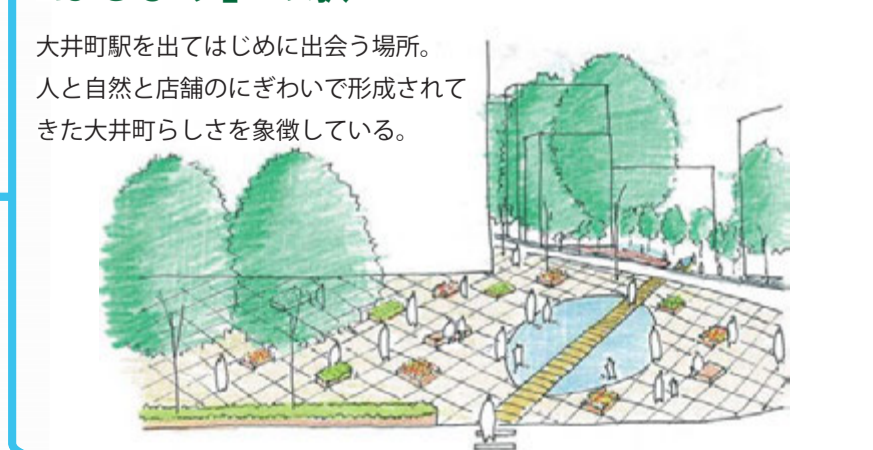
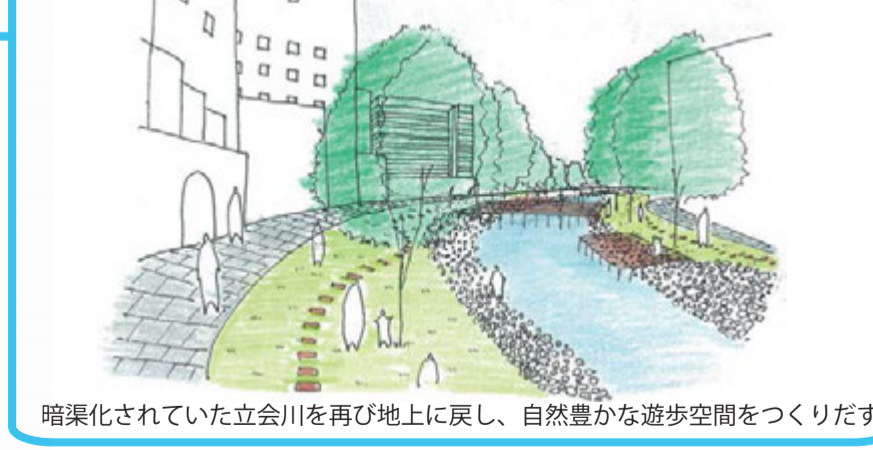
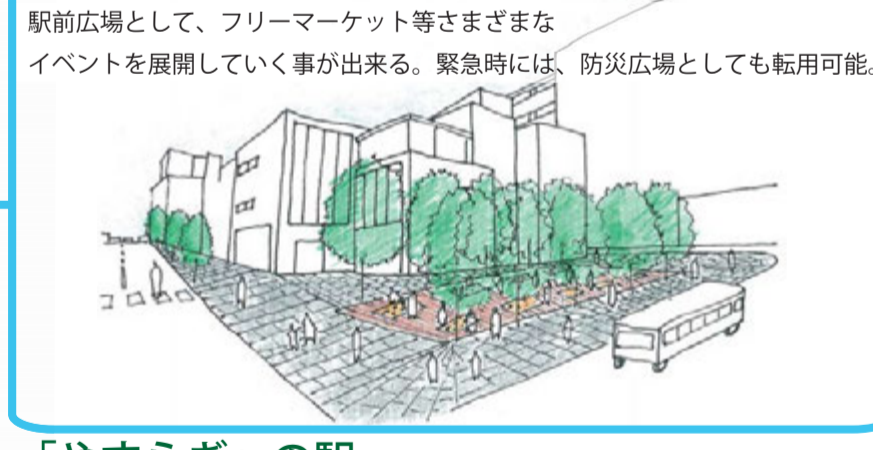
「交流」の駅



Plan



「催し」の駅



緑のコミュニティステーション

一場から道へ、道から町へ、にぎわいが広がるまちづくり

Concept

大井町の特徴的な既存空間を活用しながら、人の集まる場を創出し、場から道へ、道から町へと賑わいが緩やかにつながる、「緑のコミュニティステーション」を提案する。

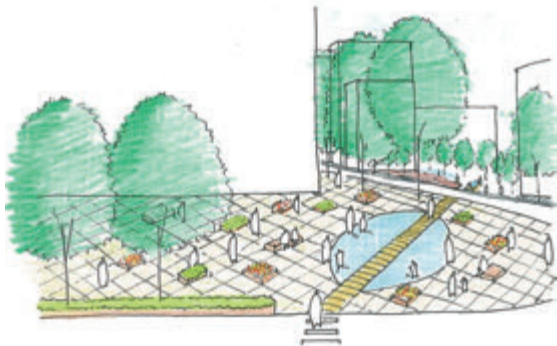
大井町駅前周辺は、鉄道開発をきっかけに物流の拠点として発展してきた。しかし現在、路上駐車やオープンスペース不足などによって、人々の集まる場所が制限されてしまっている。駅前から町への人の流動が起こりづらくなっているのが現状である。

しかし、交通の利便が良い都心部でありながらも郊外の暮らしやすさがあることから、商店、オフィス、居酒屋街など、地域内外の様々な人々が活動する町である。また、どんたく祭りなどが盛大に催され、下町風情を残す一面もある。

そこで、人が活動する場、人と自然の出会いの場を新たに創出し、それを豊かな遊歩道でつないでいく。

この「緑のコミュニティステーション」によって大井町は人々の活動で彩られる。

Proposal



「はじまり」の駅

大井町駅を出てはじめに出会う場所。人と自然と店舗のにぎわいで形成されてきた大井町らしさを象徴している。



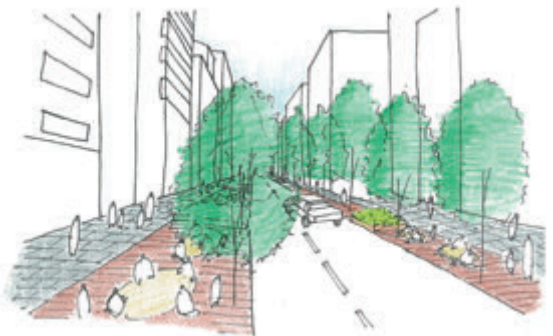
「催し」の駅

駅前広場として、フリーマーケットなど様々なイベントを展開していく事ができる。緊急時には、防災広場としても転用可能。



「くつろぎ」の駅

少し足を止めて腰をおろす事が出来る場所。木陰のベンチで買い物や旅の疲れを癒す。



「やすらぎ」の駅

暗渠化されていた立会川を再び地上に戻し、自然豊かな遊歩空間をつくりだす。



「交流」の駅

住民だけでなく、オフィスワーカーやこの場所に訪れた人々など多くの人達が関係を作り出す交流の場。